

ろうさいの森

Vol. 176 5月号



撮影：病院長 森田 明夫

看護週間が始まります

看護週間とは、看護の心、ケアの心、助け合いの心を老若男女問わずだれの心にも育つことを目指し、活動する期間のことです。

これは「クリミアの天使」とも呼ばれ、病院・看護施設の創設・改善に努力し看護婦の教育制度を整えたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日が5月12日であったことに由来します。

そこで、当院では5月11日（日）から5月17日（土）を看護週間とし、職員の家族が描いた「家族の絵」や「心に残った看護エピソード」を正面玄関にて掲示いたします。ぜひ、ご覧ください。

昨年度の様子



大田区救急業務連携連絡協議会より表彰されました

令和7年4月25日（金）、救急業務への取り組みに対し、当院の谷口救急救命士へ大田区救急業務連携協議会より感謝状をいただきました。

当院としましては引き続き、地域医療の為に貢献してまいります。



外来担当医表は裏面へ

独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院
〒143-0013大田区大森南4-13-21TEL03-3742-7301

5月14日は病院設立の日

この度、東京労災病院は設立76周年を迎えることができました。

当院は昭和24年5月14日に開院した、全国の労災病院の中で2番目に誕生した歴史のある病院です。

開院当初は内科・外科の2診療科と病棟数21床でしたが環境の変化へ対応するため、二度の全面増改築等を踏まえ、現在では、28診療科までになりました。

これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

出張講座を行いました

令和7年4月24日（木）に大森南図書館にて出張講座を行いました。当院の検査技師が「血液健検査でわかること～検査データの見方～」について講演を行いました。ご参加いただいた皆様におかれましては、誠にありがとうございました。



～次回開催日程～

日 時：5月16日（金）14：00～
演 目：「認知症のための核医学検査」
場 所：大森南図書館
参加費：無料

発行人 木村 幸司 編集人 饗庭 虹萌

腎代謝内科

腎代謝内科副部長 杉田 和哉

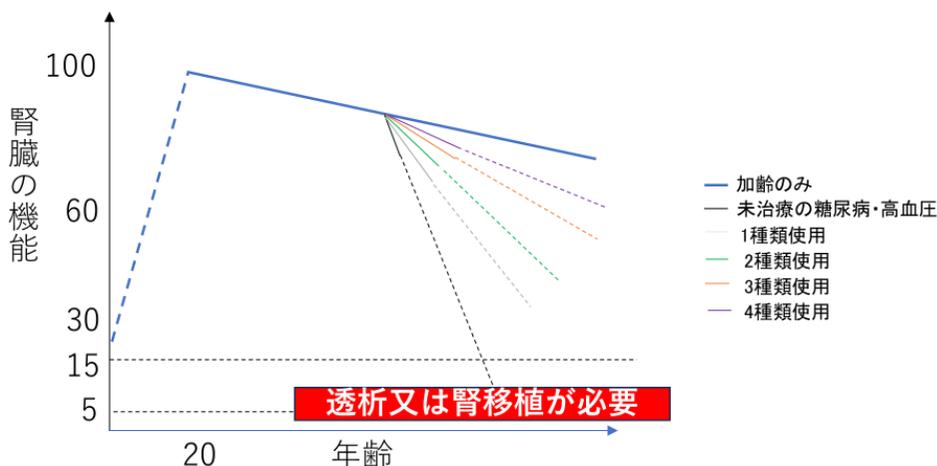
皆さんは”腎臓“という臓器に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？腎臓が果たす役割の中で最も重要なのは、体の中で発生した毒素を尿(おしっこ)から体外へ排出する事です。このように、主に尿からしか体の外へ排出できない毒素を、「尿毒素」と呼び、尿毒素を排出する能力が低下する現象を腎機能障害と呼びます。尿毒素がある程度溜っても人間の体は耐えられるようになっていきます。しかし、ある一線を越えて尿毒素が体に溜った場合、透析又は腎移植が必要です。透析や腎移植を受けている患者さん達に、1日でも長くお元気で生きていただく治療技術も勿論重要ですし、我々腎臓内科医は日々その技術を磨いています。しかし、一人でも多くの患者さんが透析や腎移植を受けなくても済む人生を送れるようにする治療が昨今ますます重要となっています。

人間の腎臓の機能は生後成長を続け、概ね20歳頃に人生におけるピークを迎えます。そこから、加齢と共に腎臓の機能も徐々に低下し、計算上120～140歳になると大多数の方が透析や腎移植が必要なレベルにまで腎臓の機能が低下するとされています。しかし、実際にはそこまで長寿な方はいらっしゃいませんので、あまり大きな問題にはなりません。これが健常な方における、腎臓の機能の推移となります。加齢による腎臓の機能の低下を食い止める術は、残念ながらありません。

慢性腎臓病について

加齢以外の原因でも腎臓の機能は低下してしまいます。腎臓の機能、つまり尿毒素を体の外に排出する機能が急激に低下する現象を“急性腎障害”と呼びます。その一方で、腎臓の機能が徐々に低下する現象を“慢性腎臓病”と呼びます。急性腎障害を来した場合に、通常は自覚症状が現れるので、患者さんご自身がお体の異変に気が付かないという事態はほぼありません。しかし、慢性腎臓病に関しては相当程度進行しても自覚症状はほぼ出現しません。慢性腎臓病を発見するには、採血や尿検査を受けていただく必要があります。

最後に、慢性腎臓病の治療についてです。慢性腎臓病患者さん達の中でも、腎臓の機能が低下する速度が速い集団が存在する事が分かっております。主に糖尿病や高血圧を有する方々が、それに該当します。腎臓の機能が低下する速度を穏やかにする作用を持つ薬剤が複数存在し、それらを組み合わせて治療する事でさらに効果が高まる事も最近分かっております。皆さん、是非お声がけください。



整形外科

整形外科部長 金井 宏幸

整形外科は、体の動きに関係する臓器である運動器診療の専門家です。整形外科の担当する範囲は、関節疾患、外傷、手の外科、リウマチ、スポーツ障害、脊椎など広範囲に及びます。

当科では現在7名の医師(全員が整形外科専門医です)が、診断・治療にあたります。とくに関節センター(主に膝・股関節)、四肢外傷センター、手の外科センターの3分野には力をいれています。いずれの分野でも、十分な説明、低侵襲、高い安全性を心掛け、早期離床・早期機能回復に努めます。

また、急性期病院として手術を要する疾患・外傷を主たる治療対象としていますので、骨粗鬆症など慢性疾患で、薬物療法の対象患者さんで病状の安定された方は、近隣の医療機関と連携を図って治療を行っています。

思いやりの気持ちをもって医療に取り組むためには、患者さん、同僚、スタッフとのコミュニケーションを大事にすることが非常に重要であると考えています。「ここで診てもらい、治してもらってよかった」と満足していただき、そして笑顔を取り戻す医療提供を目標としています。

以下に手術前後の状態の変化をしめす代表例を載せています。

関節センター

変形性股関節症



痛み・関節が動きにくい
歩行がづらい
旅行や外出もできない



痛みがない
関節がよく動く
日常生活に支障がない

四肢外傷センター

大腿骨転子部骨折



大腿骨の付け根が折れて
曲がっている
痛くて座ることもできない



骨の形を直しチタン合金の
芯棒を入れて補強
訓練で歩けるようになった

手の外科センター

デュピュイトラン拘縮



手のひらにこぶ
指がのびない
物を握りにくい



手のひらがすっきり
指がのびた
日常生活に支障ない

東京労災病院外来診療担当医表

令和7年5月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科	新患	新患担当医師	新患担当医師	新患担当医師	新患担当医師	新患担当医師	
	消化器	西中川 秀太 土方 一範 杉田 和哉	石井 辰貴 大場 信之	西中川 秀太 松坂 翔(午後) 折原 慎弥	折原 慎弥 西中川 秀太 大場 信之	土方 一範 西中川 秀太 大場 信之	
	腎代謝高血圧	土方 一範 杉田 和哉	眞部	岡田 晋志	杉田 和哉	眞部	
	呼吸器	松村 琢磨(午前)	河野 正和(午前) 春日 憲太郎(午前)	松村 琢磨(午前) 堀 雄太(午前)(整形外科4診で診察)	鈴木 美子(午前) 伊藤 幸祐(午前)	河野 正和(午前) 伊藤 幸祐(午後)	
	SAS専門外来(睡眠時無呼吸)		河野 正和(14時～)	松村 琢磨(14時～)	伊藤 幸祐(14時～)	伊藤 幸祐(14時～)	
	糖尿病・内分泌	(8時15分～11時)	桑原 公一郎(8時30分～) 眞心怡(～9時) 植 9時～12時30分)	桑原 公一郎(8時30分～) 林 晃司(8時30分～12時) 眞心怡(8時30分～12時)※1	桑原 公一郎(～10時30分) 土方 麻衣(9時～11時30分) 金澤 憲(～9時)	金澤 憲(～11時30分) 桑原 公一郎(～10時30分) 植田(10時30分～13時30分)	桑原 公一郎(～10時30分) 眞心怡(～11時30分) 正 井(10時30分～)
		(11時～14時)	桑原 公一郎(12時30分～13時30分) 桑原 公一郎(14時～)	桑原 公一郎(12時～) 桑原 公一郎(14時30分～)	桑原 公一郎(13時～)	桑原 公一郎(11時30分～13時) 眞心怡(13時～14時)	桑原 公一郎(12時30分～13時30分) 桑原 公一郎
		(14時～17時)	桑原 公一郎(12時30分～13時30分) 土方 麻衣(13時30分～16時30分) 林 晃司	桑原 公一郎(12時～) 桑原 公一郎(14時30分～)	桑原 公一郎 金澤 憲 土方 麻衣(15時30分～16時30分) 濱野	桑原 公一郎(13時30分～) 眞心怡(16時～)	桑原 公一郎(12時30分～13時30分) 桑原 公一郎 土方 麻衣(13時30分～16時30分) 林 晃司
		緩和ケア外来		河野 正和(午前)※3			
		血液内科			大山(13時～)		
大田区アスベスト検診	河野 正和(14:30～15:00)						
循環器科	浅原 敏之 和田 七海	高尾 剛博 和田 七海 有上 周佑(13:30～16:00)	吉玉 隆 高尾 剛博	浅原 敏之 有上 周佑(午前)※外科2診にて診察	吉玉 隆 久次米(午前)※内科外来6にて診察		
総合診療科(火曜日新患)		山本 武史(9時～15時※)※外科3診にて診察		山本 武史(14時～)			
ペースメーカー外来(午後)		浅原 敏之(第1・2)・吉玉 隆(第3)					
精神科・神経科	1 診 2 診	出口 真直	水原		出口 真直 出口 真直		
小児科	午前	1 診 2 診	直井 和之	直井 和之	直井 和之	直井 和之	
	午後	1 診 2 診	直井 和之	直井 和之	津久井(第4)・山城(第2) 直井 和之	津久井(第1) 遠 藤(第3)	
外科	1 診 2 診 3 診	安城 芳紀	小林 隆	小林 隆(初診・紹介) 安城 芳紀(予約のみ) 神山 博彦	野原 茂男 ストーマ外来	秀野 泰隆	
	午後			安城 芳紀(予約のみ)			
呼吸器科※2	午前 午後	穴見 洋一・牧野	呼吸器科(初・再)	呼吸器科(初・再)	呼吸器科(初・再)	穴見 洋一 穴見 洋一	
乳腺外科	午前 午後	金田 陽子	金田 陽子(予約のみ)	金田 陽子(予約のみ)	金田 陽子 窪田(東館)・里好コンサル ・遠江位理療外来	金田 陽子 金田 陽子	
	外来	1 診 2 診 3 診 4 診 5 診	筋野 隆 福井 辰術	金井 宏幸 齊木 寛 櫻井 佑斗	相原 正宣 岡村 博輝 堀 雄太(呼吸器)(整形外科で診察) 中村(彰)(友)整形外科で診察	筋野 隆 金井 宏幸 相原 正宣 福井 辰術	
整形外科	専門外来	リウマチ膠原病内科 手外科センター				増岡(13時30分～15時)	
リハ科	1 診 2 診	鈴木 久美子 浪岡 隆洋	鈴木 久美子 浪岡 隆洋	鈴木 久美子	鈴木 久美子	浪岡 隆洋	
		筋電図外来(午後)	筋電図外来(午後)	心理判定外来(全日)	義肢装具外来(午後)		
脳神経移植科(完全予約制)		池田 豊	池田 豊				
皮膚科	1 診 2 診	横田 真樹	今井 俊輔	横田 真樹	今井 俊輔	今井 俊輔	
	形成外科	1 診 午後(～15:30)当日受付のみ	前川 真穂 大原	横田 真樹 小笹 俊彦	前川 真穂 小笹 俊彦	横田 真樹 大澤(第3のみ)	
脳神経外科・脳神経内科	6 診 7 診 8 診 午後	三品 雅洋(脳内) 高橋 康大(脳内) 平戸 麻里奈(脳外)	藤澤 洋輔(脳内) 鎌 俊美子(脳内) 中村 友直(脳外)	藤澤 洋輔(脳内) 森田 明夫 院長 加藤 宏一(脳外)	三品 雅洋(脳内) 高橋 康大(脳内) 手術日	三品 雅洋(脳内) 北瀬(脳外・脊髄専門外来) 加藤 宏一(脳外)	
	泌尿器科	1 診 2 診 3 診	新井 兼司 清水 知	手術日 交代制	新井 兼司 清水(第12)坂本(第3.5)玉田(第4) 坂本 憲亮(第1)	新井 兼司 清水 知	
産婦人科	午前 午後		森田	長屋			
眼科	午前 午後(予約制)	大矢 龍輔	杉本 智美・大矢 龍輔	秋山 照代・大矢 龍輔 手術日	秋山 照代・杉本 智美 秋山 照代・杉本 智美	8:30 黄斑外来 11:00 硝子体注射 杉本 智美・大矢 龍輔(処置)	
	耳鼻咽喉科	1 診 2 診 3 診	大野(2診) 高柳 博久(午前手術日) 魚井 真帆(午前手術日) 小池 遼介(午前手術日)	小池 遼介 高柳 博久 魚井 真帆	小池 遼介 高柳 博久	益 魚井 真帆 補聴器外来(リオネット)	澤口(2診) 高柳 博久(午前手術日) 魚井 真帆(午前手術日) 小池 遼介(午前手術日)
午後		1 診 2 診 3 診	手術日 高柳 博久	小池 遼介 高柳 博久 魚井 真帆	めまい外来 高柳 博久	手術日 補聴器外来(リオネット)	
放射線診断科			長瀬 雅則 池田 豊	長瀬 雅則 池田 豊	長瀬 雅則(午後) 池田 豊	長瀬 雅則 池田 豊 池田 豊(午後)	
放射線治療科(完全予約制)			伊藤			新谷	
備のケアセンター	※診察は【 】の診療科外来ブースで行います。			【形成外科】	【皮膚科】	【皮膚科】	

※オレンジ色の網掛け部分は前月から変更した箇所、赤字は女性医師です。
 ※1糖尿病内科医師が泌尿器科外来ブースを使用して診察します。
 ※2予約無し診察も可能です。事前連絡で他曜日でも診察可能です。
 ※3事前予約が必要です。
 (ご予約の相談は、呼吸器内科 河野医師まで連絡してください。)
 ※4事前予約が必要で、月～金どの時間も予約可能です。
 ☆担当医師の都合により変更される場合があります。

【理念】
命の輝きを共有できる病院

【基本方針】

- 1 質の高い急性期医療の実践
- 2 安全で心温かな医療の提供
- 3 地域の発展と災害医療への貢献
- 4 勤労者医療の推進と普及
- 5 職員の福利・厚生の上向
- 6 健全な経営基盤の確立

労働者健康安全機構 東京労災病院
 東京都大田区大森南四丁目13番21号

TEL 03 (3742) 7301 (代表)
 TEL 03 (3742) 7129 (連携室直通)
 FAX 03 (3742) 7314 (連携室直通)